



# TRAIL-GEAR

Off Road Supply

## Suzuki Samurai 6.5 Transfer Case Gear Kit, 105004-3-KIT



### キット付属品:

ギア 26スプライン/26歯	1個
ギア 44歯	1個
ギア 58歯/23歯	1個
ギア 67歯/27歯	1個
カウンターシャフト	1個
カウンターシャフトメタル	2個
ペーパーガスケット 大	1個
ペーパーガスケット 小	1個
ローラーベアリング	2個
スピードメーターオーリング	1個
フロントアウトプットシール	1個
フロントインプットシール	1個
リアアウトプットシール	1個
取り付け説明書	1冊

### 推奨工具:

ラチェット  
12mm,14mm,28mmソケットレンチ  
エアレンチ  
ラジオペンチ  
ハンマー(ラバーハンマー)  
グラインダー  
直径4.8mm(3/16インチ)ピンパンチ  
スナップリングプライヤ  
6mm六角レンチ  
ガスケットスクレーパー  
マイナスドライバー  
モンキーレンチ  
Permatex® Ultra Grey®シリコン



ご質問・ご不明な点がございましたらこちらにお電話ください(0745-82-7737)

この取り付け説明書では、トランスファーのハウジングを名称で示します。  
以下の写真はそれぞれのハウジングとその名称です。



リアハウジング



センターハウジング



フロントハウジング



Step 1

オイルをトランスファーケースから抜き取ります。トランスファーケースを車両から取り外したあと、マウンティングレールまたはクロスマンバーをケースから取り外します。



Step 2

21mmレンチを使い、4wdインジケータランプを取り外します。



Step 3

トランスファーケースを裏返ししながら、インジケータの穴から落ちるボールを回収します。このスチールボールは、後に回収する2個よりも大きいものです。

Step 4



28mmのソケットレンチを使い、3個すべてのフランジナットとフランジを取り外します。場合によってはベアリングプーラーでフランジを引き抜く必要があります。



**Step 5**

注意: リアのアウトプットフランジはフロントのアウトプット/インプットフランジと形状が異なります。



**Step 6**

6mm六角レンチを使い、トランスファーケースの底面にあるプラグを取り外します。



**Step 7**

細いドライバーまたはポンチを使い、プラグを取り外したあと、ケースを裏返してデテントボールを回収します。



**Step 8**

スピードメーターのアウトプット用ボルトを取り外します。



**Step 9**

スピードメーターのアウトプットを取り外します。



**Step 10**

フロントハウジングを固定している7個のボルトを取り外します。後に正しく組み立て直すために、このときのそれぞれのボルトの位置を把握しておいてください。



**Step 11**

フロントハウジングを取り外します。



**Step 12**

カウンターシャフトを固定しているロックタブとボルトを取り外します。



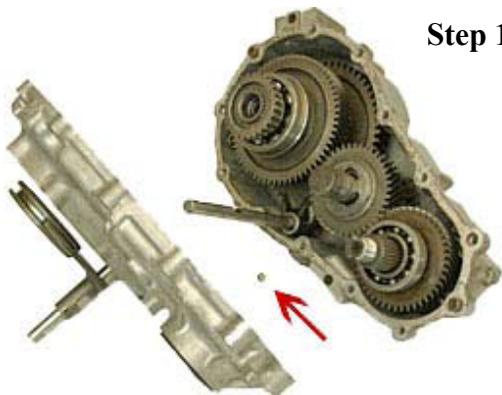
**Step 13**

センターハウジングとリアハウジングを固定している11個のボルトを取り外します。



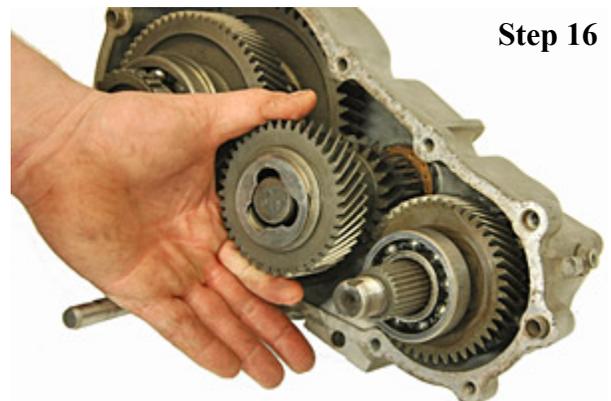
**Step 14**

小さめのハンマーを使い、リアハウジングからセンターハウジングを取り外します。



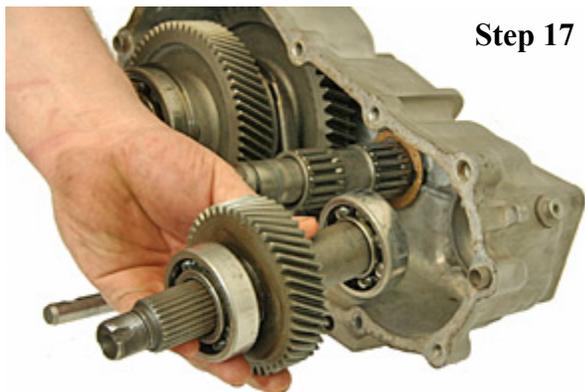
**Step 15**

ケースが取り外される際、スチールボールを取りこぼさないように注意してください。このボールは後に再び取り付けられます。スチールボールを取り外すにはハウジングを軽くたたく必要がある場合があります。



**Step 16**

リアハウジングからカウンターシャフトのギアとスラストメタルを取り外します。



**Step 17**

インプットギアとベアリングアセンブリを取り外します。



**Step 18**

カウンターシャフト、ベアリング、スラストメタルを取り外します。



**Step 19**

図のようにシフトフォークアセンブリを取り外します。



**Step 20**

リアハウジングからアウトプットギアアセンブリを取り外します。リアハウジングを持ち、アウトプットを外すためハウジングを押し込みます。この際にハウジングを持ち上げ、平らな面に軽く落とすことで取り外すことができます。



**Step 21**

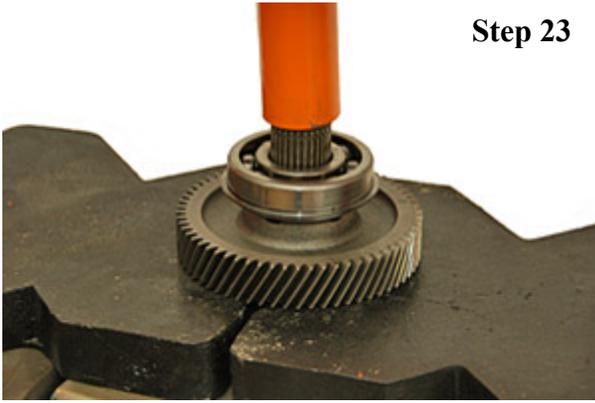
アウトプットギアの末端に取り付けられたスナップリングを取り外します。



**Step 22**

図のようにギアを取り外します。

**Step 23**



図のようにアウトプットギアをベアリングに押し込みます。

**Step 24**



アウトプットのベアリングを取り外します。

**Step 25**



スペーサーをアウトプットギアから取り外します。

**Step 26**



ハイスピードアウトプットギアを取り外します。

**Step 27**



ニードルベアリングアセンブリをシャフトから取り外します。

**Step 28**



シャフトカラーを取り外します。

**Step 29**



ギアアセンブリを裏返し、アウトプットシャフトをロースピードギアに押し込みます。

**Step 30**



ベアリングキーパーを取り外します。

**Step 31**



ベアリングを取り外します。

**Step 32**



ドライブギアを取り外します。

**Step 33**



スペーサーを取り外します。

**Step 34**



ロースピードギアを取り外します。



ケージベアリングを取り外します。ケージベアリング、シャフト、ハウジングを掃除します。



ケージベアリングをアウトプットシャフトに再び取り付けます。



アウトプットギアに新しいロースピードギアを取り付けます。



スペーサーを再び取り付けます。



ドライブギアを再び取り付けます。



金属チューブなどをあてがい、ドライブギアをハンマーで押し込みます。



**Step 41**

シャフトにベアリングを再び取り付けます。



**Step 42**

ベアリングを所定の位置まで押し込みます。



**Step 43**

カラーを再び取り付けます。



**Step 44**

カラーを所定の位置まで押し込みます。



**Step 45**

アウトプットシャフトを裏返し、シャフトカラーを取り付けます。



**Step 46**

ベアリングをシャフトに再び取り付けます。



**Step 47**

ベアリングにグリスを適量塗ります。



**Step 48**

新しいハイスピードアウトプットギアを取り付けます。



**Step 49**

スラストメタルを再び取り付けます。



**Step 50**

ベアリングを再び取り付け、所定の位置まで押し込みます。



**Step 51**

図のようにギアを取り付けます。



**Step 52**

スナップリングを再び取り付けます。

### Step 53



インプットシャフト両端のベアリングを取り外します。

### Step 54



ベアリングを取り外す際、シャフトより小さめのソケットレンチ (14mmドライブソケットレンチ) を使うことを推奨します。

### Step 55



外側のベアリングを取り外したあと、内側のベアリングを押し出します。

### Step 56



およそ6mm程度の厚さの鉄板を図のように使えば、インプットギアおよびベアリングのシャフト末端にあるドライブフレンジへの取り付けを円滑に行うことができます。

### Step 57



もとのインプットシャフトは廃棄します。図のような新しいインプットシャフトを用意してください。

### Step 58



図のようにベアリングをシャフト末端に取り付けます。



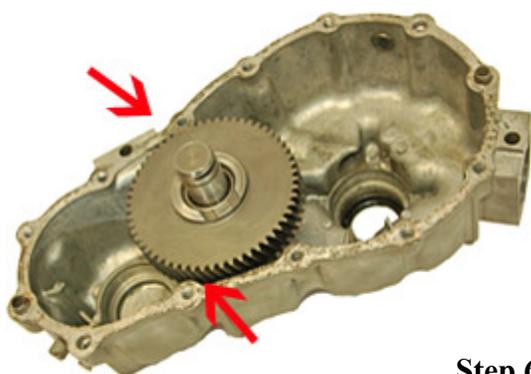
**Step 59**

ソケットレンチを使い、ベアリングを所定の位置へハンマーなどで押し込みます。



**Step 60**

ベアリングをシャフトの反対側に取り付け、所定の位置まで押し込みます。



**Step 61**

新しいカウンターシャフト、カウンターシャフトギア、ベアリングを一時的に取り付けます。図で示された場所で、ギアがケースにあたり、擦れたりしないかどうか確認してください。



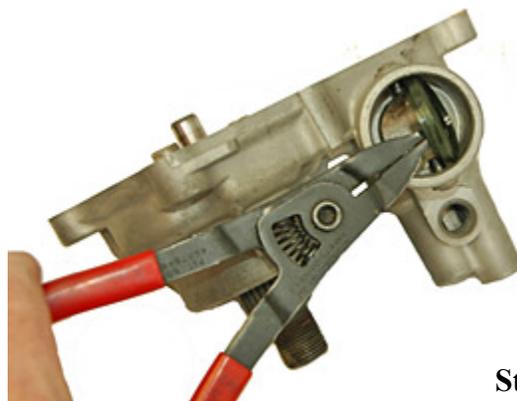
**Step 62**

ギアがケースに干渉するのを解消するには、Dremel(R)ロータリーツールでケースの表面を削り取る必要があります。



**Step 63**

ギア回転にあたり、ケースの両側面には余裕のあるスペースが必要です。ギアをケースの内側で回してみ、ケースにあたらないか確認し、必要であれば表面を削り取って調整します。調整が終われば、カウンターシャフトとギアを取り外します。



**Step 64**

シフターシートを取り外し、点検します。



**Step 65**

ひびや欠損がないかどうか確認し、あった場合は新しいものに取り換えてください。



**Step 66**

リアハウジングから古いリアアウトプットシールを取り除きます。



**Step 67**

キット付属の新しいリアアウトプットシールを取り付けます。



**Step 68**

古いフロントインプットシールを取り除きます。



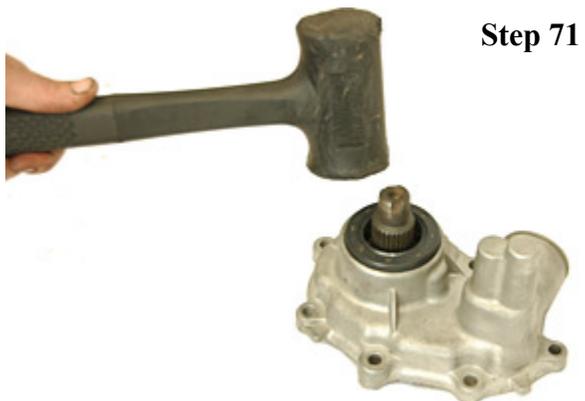
**Step 69**

キット付属の新しいフロントインプットシールを取り付けます。



**Step 70**

古いフロントアウトプットシールを取り除きます。



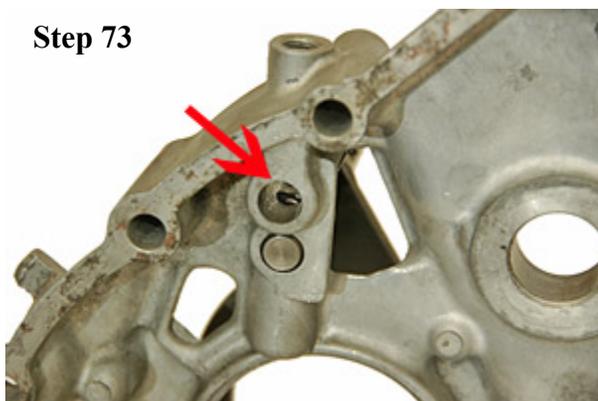
**Step 71**

キット付属の新しいフロントアウトプットシールを取り付けます。



**Step 72**

図のようにStep15で回収したスチールボールをセンターハウジングに取り付けます。



**Step 73**

シフトレールを傾け、ボールをレールのスロットに入り込ませます。



**Step 74**

ハイシフトレール/ローシフトレールをギアアセンブリに組み込みます。



**Step 75**

ギアアセンブリをセンターハウジングに組み込みます。



**Step 76**

フロントアウトプットのシフトカラーをシフトフォークに取り付けます。



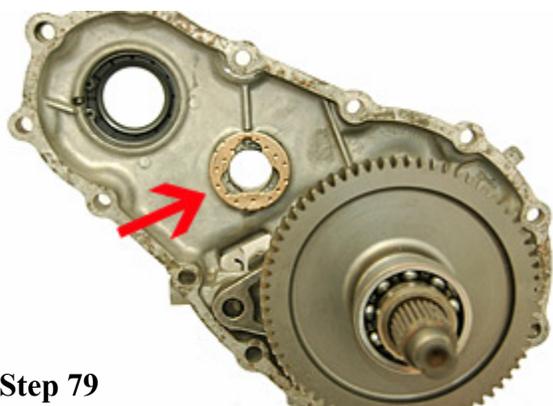
### Step 77

ラバーハンマーを使い、アウトプットアセンブリを所定の位置まで押し込みます。



### Step 78

センターハウジングに面するカウンターシャフトシムにグリスを適量塗ります。



### Step 79

キット付属のカウンターシャフトメタルを取り付けます。注意：タブが図のようにハウジングの凹凸に合っているか確認してください。



### Step 80

カウンターシャフトのラバーシールを取り換えます。ラバーシールはシャフトの溝に取り付けます。



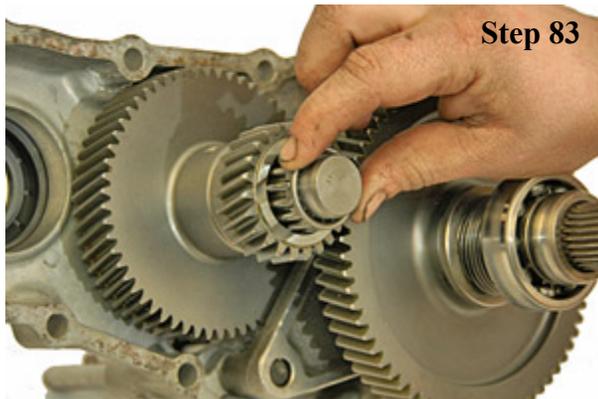
### Step 81

カウンターシャフトギアをカウンターシャフトメタルの上から取り付けます。



### Step 82

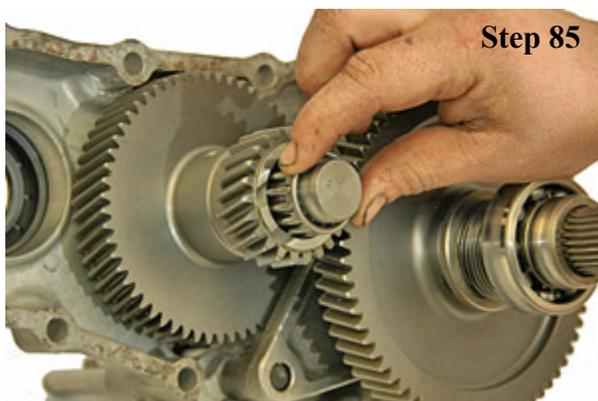
カウンターシャフトをカウンターシャフトギアとカウンターシャフトメタルの間に通します。



新しく取り付けられたカウンターシャフトベアリングにグリスを適量塗り、カウンターシャフトギアの中央へとスライドさせます。



図のようにベアリングスペーサーを取り付けます。



新しく取り付けられた2個目のカウンターシャフトベアリングにグリスを塗り、カウンターシャフトの中央へとスライドさせます。



インプットギアアセンブリを取り付けます。



リアハウジングのカウンターシャフトホールにグリスを適量塗ります。



新しいカウンターシャフトメタルをリアハウジングの穴に取り付けます。注意: タブが図のようにハウジングの凹凸に合っているか確認してください。



### Step 89

Permatex® Ultra Grey®シリコンをガスケットの両面に  
取り付け、そのガスケットをリアハウジングの上に取り付けます。



### Step 90

リアハウジングをセンターハウジングに合わせます。このとき、  
ガスケットをしめつけたり傷つけたりしないよう注意してくださ  
い。



### Step 91

ラバーハンマーでセンターハウジングとリアハウジングを組み  
合わせます。



### Step 92

プライヤでカウンターシャフトをまわし、ロックタブの位置を合  
わせてボルトを取り付けます。



### Step 93

11個のボルトを取り付け、センターハウジングとリアハウジ  
ングを固定します。注意: 取り付けの際、それぞれのボルトを  
正しい位置に取り付けてください。すべてのボルトが同じ形  
状であるとは限りません。



### Step 94

Permatex® Ultra Grey®シリコンをフロントハウジングの  
ガスケット両面に取り付けます。その後ガスケットをフロント  
ハウジングの上に設置してください。



### Step 95

フロントハウジングをセンターハウジングの上に取り付けます。



### Step 96

7個のボルトでフロントハウジングを取り付けます。注意: 取り付けの際、それぞれのボルトを正しい位置に取り付けてください。すべてのボルトが同じ形状とは限りません。



### Step 97

フロント”アウトプット”フランジを取り付けます。フランジナットを取り付け、所定の位置に差し込みます。



### Step 98

フロント”インプット”フランジを取り付けます。フランジナットを取り付け、所定の位置に差し込みます。



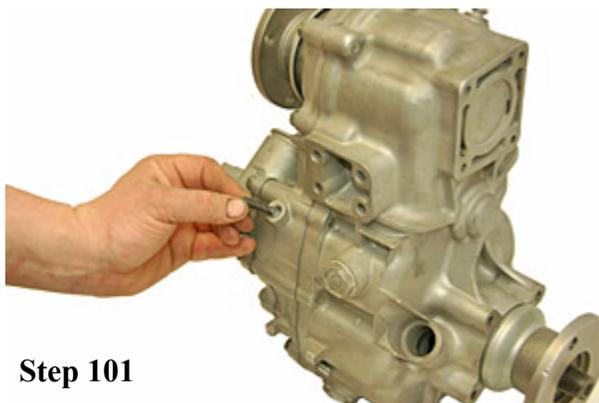
### Step 99

リアアウトプットフランジを取り付けます。注意: リアアウトプットフランジは大きく、他の2つのフランジとは異なります。フランジナットを取り付け、所定の位置に差し込みます。



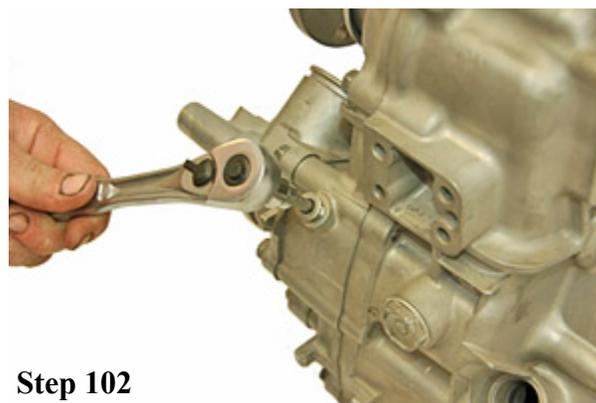
### Step 100

スチールボールをケースの底面に取り付けます。



### Step 101

スプリングをケースの底面に取り付けます。



### Step 102

プラグをケースの底面に取り付けます。



### Step 103

スピードメーターのドライブユニットを取り付けます。



### Step 104

スピードメーターのドライブボルトを取り付けます。



### Step 105

図のように、Step3で回収した4WDインジケータボールを取り付けます。



### Step 106

図のように、4WDインジケータスイッチを取り付けます。組み立ては以上です。お疲れ様でした。



---

#### トランスファーケースオイル:

トランスファーケースを組み立て後、リアのプラグを外し、ギアオイル80/90WGL5を注いでください。オイルが注入口からあふれ始めたら注ぐのをやめてください。トランスファーケースのオイルはおよそ16kmの運転後に点検が必要です。在来型石油または合成石油が使用可能です。

#### トランスファーケースオイルの点検の推奨:

いかなるトランスファー内部に対する整備の後でも、オイル内の不純物を取り除くため最初の試験運転後またはおよそ1600kmの走行後にオイル交換を推奨します。その後、年に一度またはおよそ16000kmの走行のたびにオイルを交換することを推奨します。また、エンジンのオイルを交換するごとにトランスファーケース内のオイルの高さを点検してください。車が転倒した際などはオイル漏れが発生する可能性があり、必ずトランスファーケース内のオイルの高さを点検してください。



この取り付け説明書は一般的な導入のためにつくられたものです。多くのトレイルギア製品は金属製作、溶接、修理の専門的な技術を必要とします。ご質問・ご不明な点がございましたら、こちらの電話番号(0745-82-7737)にお問い合わせください。また、溶接機、ブローランプ、グラインダーなどの使用は重傷または致命傷を招く恐れがあります。ご使用の際はご自身の安全に十分に配慮した上で、安全装置の使用方法・作動を確認し、自己責任の下で機器を操作してください。

ロックローリング、オフロードドライビングは本来大変危険なアクティビティです。改造方法によっては、ご自身の車のオンロードでの運転パフォーマンスを下げる場合がございます。すべてのトレイルギア製品はオフロード専用販売されています。他の目的への使用はご自身の責任で行ってください。アフターマーケットなどで流通・販売されている製品は製造会社の保証の適用外または保証が無効になっている場合がございます。改造は重傷または致命傷を招く事故・転倒等につながる可能性があります。購入者・使用者は明確に改造の危険性を理解した上で自己責任で行ってください。

お問い合わせ先: 津田レーシング(日本総代理店) 0745-82-7737  
<http://www.tsudaracing.com>

改訂 15/07/03

Copyright 2008 Trail-Gear Inc.

[www.Trail-Gear.com](http://www.Trail-Gear.com)